

SDGsをテーマとした探究学習の導入授業として モジュール3を実施（課題解決力の育成）

●実施概要

学校・学年	聖心学園中等教育学校 4年生（高校1年）2クラス 43名
実施プログラム	【モジュール3】 持続可能な社会の実現方法を探る
実施時間	●総合的な探究の時間 1時限（50分）2クラス合同実施

●課題解決の方法を考えるきっかけづくりに

聖心学園中等教育学校では、学年ごとに異なるテーマで探究学習に取り組んでおり、4年生（高校1年生）では、世界の課題に目を向けることをきっかけに、地域の課題解決に向けた探究学習に取り組んでいます。

本プログラムは、今後、具体的な課題解決の方法を考えていくうえで必要となる「持続可能な社会」を実現するための考え方を学ぶために、探究学習の導入授業として実施しました。



●アレンジ活用ポイント（企業の取組映像の活用方法）

「持続可能な社会」を支援している日本企業の取組についての映像教材を「2.「持続可能な社会」の実現へのアイデア」ワークの導入として視聴〈授業2〉。

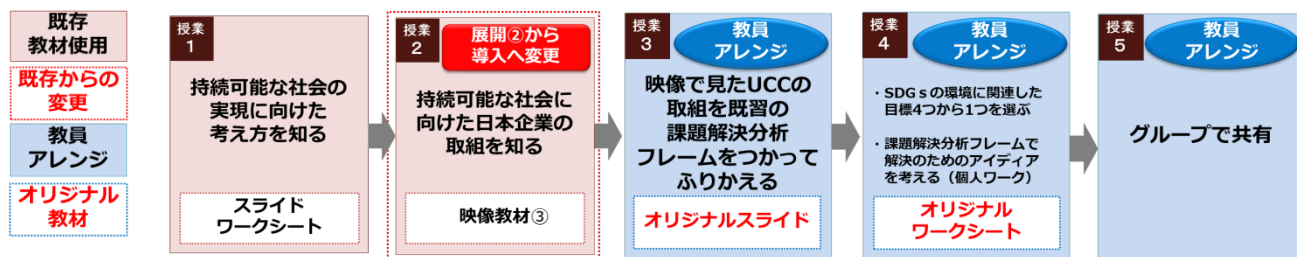
その後、アレンジとしてUCCの取組を既習の課題解決分析フレーム（「未来」→「課題」→「原因」→「理想状況」の順番で考え整理するフレーム）に当てはめ、日本企業の取組を教員から説明〈授業3〉。

次に「2.「持続可能な社会」の実現へのアイデア」ワークを、既存のイラスト分析ワークから、教員が準備したSDGsをテーマとした教材を活用したワークに変更。主に環境に関する分野の目標とその背景にある課題について書かれた資料を参考に、個人で課題分析フレームで、解決のためのアイデア発案〈授業4〉。

「持続可能な社会」の実現へのアイデアを考える活動をグループごとに実施〈授業5〉。

いずれのアレンジも、「持続可能な社会」を実現させるためのアイデアを世界の現状に基づいてより具体的に考えることにつながっており、生徒同士が自分の考えたアイデアを共有する際には、「それ、何年も続けるの難しくない?」「企業にも協力してもらったら、広めていけそう。」など、学びをいかして意見交換をする姿も見られました。

●授業の流れ（授業1～5までを50分で実施）



●実施教員の声



聖心学園中等教育学校
吉澤 陽 先生

Q: モジュール3を使用した授業をされようとしたきっかけは?

探究学習のテーマに「世界の問題」を設定しているため、そのようなテーマを扱う教材を探していました。本プログラムは課題解決のために必要な「考え方」とそれに基づいた「企業の取組」について知り、自分たちが実際に解決策を考えるときの参考にしてほしいと思い、実施しました。ワークを考えるための参考として実際に映像やスライドが活用できました。

Q: 本プログラムを使用していかがでしたか?

今回、課題分析ワークでは、これまでの探究学習でも活用してきた分析シートを使用しました。この授業によって、「世界の課題」を分析する際に、「持続可能性」という視点からも考えることができるようになって感じています。高校生の探究学習の導入として効果的な教材であったと感じています。